

ことばあそびを活かしてしりとりことばをつくり発表会をしよう
 ことばあつめをして「あいうえお歌」をつくり発表会をしよう
「ことばの世界をひろげよう」

指導者 中本 潤一郎 支援員 松園 英莉

1 日 時 平成 29 年 11 月 24 日 (金)

2 学 年 知的障害特別支援学級

(第 1 学年 1 名・第 2 学年 1 名・第 3 学年 2 名・第 4 学年 1 名・第 5 学年 1 名 計 6 名)

3 単元について

【児童観】

本学級は、第 1 学年から第 5 学年まで 6 名の知的障害特別支援学級である。国語科の学習では、A 児 (1 年) と C 児 (3 年), E 児 (4 年) は語彙数が少なく、普段の生活経験から言葉を広げることが難しい。B 児 (2 年) と D 児 (3 年), F 児 (5 年) は生活経験から言葉を次々と獲得し、使える言葉の数も豊富になり使い方も獲得している。しかし、B 児は、言葉へのこだわりから、思考が広がりにくい傾向がある。

個々の児童の実態は、次の通りである。

児童	学習の実態
A 児 (1 年)	<ul style="list-style-type: none"> ○声かけをすることで、人前でも大きな声で発表することができる。 ○声かけをすることで、生活経験をもとに思考することができる。 ○簡単な語句や短い文を読む時には、一文字読みで、発音は明瞭ではない。 ○ひらがなやカタカナを読む自信がもてるようになってきたが、書くことは難しい。 ○言葉による指示を理解することが難しい。
B 児 (2 年)	<ul style="list-style-type: none"> ○ひらがな、カタカナ、簡単な漢字の読み書きができる。 ○自分で想像することは苦手だが、経験したことを表現することや視覚的な情報から思考することはできる。 ○言葉をたくさん知っているが、自分からその言葉を使って表現することが難しい。 ○みんなの前で発表することが苦手である。 ○気分の変化がよくみられる。
C 児 (3 年)	<ul style="list-style-type: none"> ○声かけをすることで、人前でも大きな声で発表することができる。 ○声かけや視覚的な提示、いくつかの中から選ばせるなどの支援がなければ、使える言葉が少ないため、想像することが難しい。 ○言葉による指示を理解するのが難しい。
D 児 (3 年)	<ul style="list-style-type: none"> ○短い文章なら進んで音読することができる。 ○自分の考えをもち、発表することができる。 ○生活経験や視覚的な情報から判断することができる。 ○考えるときに声が出る。声を小さくするように指示すると小さくなるが、すぐに周りの人に聞こえるくらいの大きさになる。 ○文章の書き間違いや読み間違いがある。 ○集中できる時間が短い。
E 児 (4 年)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に対して真面目に取り組むことができる。 ○みんなの前で大きな声で発表できるが、発音が明瞭ではない。 ○声かけや視覚的な提示、いくつかの中から選ばせるなどの支援がなければ、使える言葉が少ないため、想像することが難しい。 ○一つの言葉をきっかけに、同じカテゴリーの言葉を連想することができる。 ○言葉による指示を理解することが難しい。
F 児 (5 年)	<ul style="list-style-type: none"> ○短い文や簡易な物語を読むことが好きである。 ○生活経験や視覚的な情報をもとに、想像したり、思考や判断したりすることができる。 ○進んで自分の思いや考えを文章に書いたり、発表したりすることができる。 ○想像することを楽しむことができる。 ○声の大きさや速さ、姿勢に気を付けて音読することが難しい。 ○興味・関心の強さによって、集中できる時間に差がある。

【単元観】

本単元では、児童の実態により活動を「しりとりことばをつくって発表しよう」と「あいうえお歌をつくって発表しよう」の2つのグループに分ける。どちらのグループでも、ことばあそびを通して、言葉そのものを楽しませていく活動をしていきたい。言葉の学習において、意欲となるのは、言葉への好奇心である。言葉に目を向けさせ、言葉への意識を育てるには、言葉の使い方や仕組みに対する好奇心をもたせること、そして、言葉の働きの面白さに気付くような言葉との出会いを体験させることが大切であると考え。

各グループの内容については以下の通りである。

①グループ（D児，F児）

学習指導要領解説国語編第1学年及び第2学年「A話すこと・聞くこと」（ア）「身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと。」，（ウ）「姿勢や口形，声の大きさや速さなどに注意して，はっきりした発音で話すこと」，「B書くこと」（ア）経験したことや想像したことなどから書くことを決め，書こうとする題材に必要な事柄を集めること，（ウ）「語と語や文と文との続き方に注意しながら，つながりのある文や文章を書くこと。」（エ）「文章を読み返す習慣を付けるとともに，間違いなどに気付き，正すこと。」，「C読むこと」（ア）「語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。」をねらいとし，「しりとりことば」をつくる学習を行う。ことばあそびの中でも，「しりとりことば」は，2人以上いれば，どこでもいつでも始められる便利さから，長く親しまれている遊びである。イメージマップをつくり，「～は～。」という定型的な文を書いたり絵を描いたりしていくことで，「しりとりことば」が完成していくようにする。リズムにのせて，言葉がつながっていく楽しさを味わうことができると考える。

②グループ（A児，B児，C児，E児）

特別支援学校学習指導要領「聞く・話す」の2段階（2）「見聞きしたことなどを簡単な言葉で話す。」，「読む」の2段階（3）「文字などに関心をもち，読もうとする。」，「書く」の2段階（4）「文字を書くことに興味をもつ。」をねらいとし，「あいうえお歌」をつくる学習を行う。まず，50音表や絵を活用して「ことばあつめ」をし，それを活用して「あたまとり」の活動も行っていく。集めた言葉は表にすることで，児童がそれを見て活用できるようにする。みんなで考えた言葉を掲示しそれを学習に活用することで，言葉の世界を広げていくことができると考える。

これらの学習を通して，児童に言葉の便利さやおもしろさをたくさん体験させ，言葉の世界を広げさせたい。また，自分たちが作った作品を他の特別支援学級で発表したり，教室前の廊下に掲示したりする場を設定し，意欲的に学習を続けさせたい。

【育てたい資質・能力】

A児 (1年)	○身近な物の名称を知り，獲得した言葉を生活の中で活かすことができる力（知識・技能） ○自分から意欲的に文字を読もうとする態度（主体的に学習に取り組む態度）
B児 (2年)	○声の大きさや姿勢に注意して，はっきりした発音で発表する力（思考・判断・表現）
C児 (3年)	○身近な物の名称を知り，獲得した言葉を，生活の中で活かすことができる力（知識・技能） ○学習の見通しをもち，自ら進んで活動できる態度（主体的に学習に取り組む態度）
D児 (3年)	○経験や想像などから伝えたいことを決めて，つながりのある言葉表現する力（思考・判断・表現）
E児 (4年)	○身近な物の名称を知り，獲得した言葉を，生活の中で活かすことができる力（知識・技能） ○学習の見通しをもち，自ら進んで活動できる態度（主体的に学習に取り組む態度）
F児 (5年)	○姿勢や口形，声の大きさや速さなどに注意して，はっきりした発音で発表する力（思考・判断・表現）

【指導観】

①グループ

児童	指導にあたって
D児 (3年)	○自分のつくったしりとりことばを何度も読ませて、読み間違いをなくしたり書き間違いに気付かせたりする。 ○イメージマップをつくるときに、児童の興味・関心に応じた言葉を与えて、イメージが広がりやすいようにする。
F児 (5年)	○自分が音読している様子をビデオで見て、客観的により良い発表の仕方について考えられるようにする。 ○イメージマップをつくるときに、児童の興味・関心に応じた言葉を与えて、イメージが広がりやすいようにする。

②グループ

児童	指導にあたって
A児 (1年)	○活動をパターン化・単純化し何度も取り組むことで、活動に見通しをもたせ、自信をもって取り組めるようにする。 ○書く活動が難しい時には、なぞり書きをさせる。
B児 (2年)	○活動をパターン化し、何度も取り組むことで、活動に見通しをもたせ、自信をもって取り組めるようにする。 ○児童が学習活動に困り気分が落ち込んだ時に、気分が切り替えられるよう、学習形態の変化や児童が取り組みやすい学習活動を用意しておく。
C児 (3年)	○活動をパターン化・単純化し何度も取り組むことで、活動に見通しをもたせ、自信をもって取り組めるようにする。 ○ことばあつめが難しい時には、他の児童が集めた言葉をもとに、言葉を集めさせていく。
E児 (4年)	○活動をパターン化・単純化し何度も取り組むことで、活動に見通しをもたせ、自信をもって取り組めるようにする。 ○ことばあつめが難しい時には、他の児童が集めた言葉をもとに、言葉を集めさせていく。

4 単元の指導目標

①グループ

児童	単元の目標
D児 (3年)	○身近なことや経験したことなどから、必要な事柄を思い出すことができる。 (学習指導要領国語編 第1学年及び第2学年 話すこと・聞くことア) ○経験したことや想像したことなどから書くことを決めて、書くことができる。 (学習指導要領国語編 第1学年及び第2学年 書くことア) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 (学習指導要領国語編 第1学年及び第2学年 読むことア)
F児 (5年)	○姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すことができる。 (学習指導要領国語編 第1学年及び第2学年 話すこと・聞くことウ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを決めて、書くことができる。 (学習指導要領国語編 第1学年及び第2学年 書くことア) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 (学習指導要領国語編 第1学年及び第2学年 読むことア)

②グループ

児童	単元の目標
A児 (1年)	○見聞きしたことなどを簡単な言葉で話すことができる。 (特別支援学校指導要領 話す 2段階(2)) ○ことばあつめに興味・関心をもち、進んで言葉をあつめることができる。 (特別支援学校指導要領 書く 2段階(4)) ○文字や身近なものの名称に関心をもち、読もうとすることができる。 (特別支援学校指導要領 読む 2段階(3))

B児 (2年)	○声の大きさや姿勢に注意して、はっきりした発音で発表することができる。 (学習指導要領国語編 第1学年及び第2学年 話すことウ) ○言葉を読み返し、間違いなどに気付き、正すことができる。 (学習指導要領国語編 第1学年及び第2学年 書くことエ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 (学習指導要領国語編 第1学年及び第2学年 読むことア)
C児 (3年)	○見聞きしたことなどを簡単な言葉で話すことができる。 (特別支援学校指導要領 話す 2段階(2)) ○ことばあつめに興味・関心をもち、進んで言葉をあつめることができる。 (特別支援学校指導要領 書く 2段階(4)) ○文字や身近なものの名称に関心をもち、読もうとすることができる。 (特別支援学校指導要領 読む 2段階(3))
E児 (4年)	○見聞きしたことなどを簡単な言葉で話すことができる。 (特別支援学校指導要領 話す 2段階(2)) ○ことばあつめに興味・関心をもち、進んで言葉を集めることができる。 (特別支援学校指導要領 書く 2段階(4)) ○文字や身近なものの名称に関心をもち、読もうとすることができる。 (特別支援学校指導要領 読む 2段階(3))

5 単元の評価規準

児童	関心・意欲・態度	話す・聞く能力 書く能力 読む能力
A児 (1年)	○ことばあつめを楽しんでいる。	○見聞きしたことを簡単な言葉で話している。 (話す・聞く) ○簡単な語句を見て書き写している。 (書く) ○文字に関心をもち、進んで読んでいる。 (読む)
B児 (2年)	○ことばあつめを理解し、進んでことばをあつめている。	○声の大きさや姿勢に注意してはっきりした発音で発表している。 (話す・聞く) ○言葉を読み返し、間違いなどに気付き、正している。 (書く) ○語のまとまりに気を付けて読んでいる。 (読む)
C児 (3年)	○ことばあつめを楽しんでいる。	○見聞きしたことを簡単な言葉で話している。 (話す・聞く) ○簡単な語句を見て書き写している。 (書く) ○文字に関心をもち、進んで読んでいる。 (読む)
D児 (3年)	○ことばあそびを理解し、進んでしりとりことばをつくらうとしている。	○身近なことや経験したことなどから話したり聞いたりする話題を設定している。 (話す・聞く) ○つながりのある言葉を書いている。 (書く) ○語のまとまりに気を付けて正しく読んでいる。 (読む)
E児 (4年)	○ことばあつめを楽しんでいる。	○見聞きしたことを簡単な言葉で話している。 (話す・聞く) ○簡単な語句を見て書き写している。 (書く) ○文字に関心をもち、進んで読んでいる。 (読む)
F児 (5年)	○ことばあそびを理解し、進んでしりとりことばをつくらうとしている。	○姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で発表している。 (話す・聞く) ○つながりのある言葉を書いている。 (書く) ○語のまとまりに気を付けて正しく読んでいる。 (読む)

6 単元の指導計画

①グループ（全9時間扱い）

時	学習活動	評価の観点					
		関	話	書	読	評価規準（評価方法）	
						① グループ	
						D児（3年）	F児（5年）
1	○連想ゲームをする。 ・絵や穴埋め形式のイメージマップから、イメージをもったり、イメージを広げたりする。		○			・身近なことや経験したことなどからイメージをもち、話している。（発言）	
2 3	○イメージマップをつくる。 ・言葉のつながりを意識して、イメージマップを書く。			○		・経験したことや想像したことなどから書くことを決めたり、書こうとすることに必要な事柄を集めたりして、イメージマップを書いている。（行動観察，ワークシート）	
4	○イメージマップをもとに、しりとりことばを書く。 ・イメージマップから「～は～」という定型的な文の書き方を理解し、しりとりことばを書く。			○		・イメージマップをもとに、しりとりことばを1つ書いている。（行動観察，ワークシート） ・イメージマップをもとに、しりとりことばを2つ書いている。（行動観察，ワークシート）	
5	○友達と協力して、イメージマップをつくり、しりとりことばを書く。 ・友達の考えを認めたりよさを伝えたりする。 【本時】			○		・友達と協力してイメージを考え、つながりのあるしりとりことばを書いている。（行動観察，ワークシート）	
6	○しりとりことばの発表の練習をする。 ・ルールを守って発表場所で練習する。				○	・語のまとまりに気を付けて読む練習をしている。（発表） ・姿勢や口形，声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で読む練習をしている。（発表）	
7	○発表練習を振り返る。（ビデオを見る） ・発表の仕方について、観点を知り、振り返る。	○				・声の大きさ，姿勢，読む速さの3つの観点で振り返っている。（観察，発言）	
8	○しりとりことばの発表の練習をする。 ・よりよい発表になるように練習する。				○	・声の大きさ，姿勢，読む速さに気を付けて読む練習をしている。（観察，発表）	
9	○発表会を開く。 ・相手意識をもって発表する。		○			・声の大きさ，姿勢，読む速さに気をつけて発表している（観察，発表）	

②グループ（全12時間扱い）

時	学習活動	評価の観点							
		関	話	書	読	評価規準（評価方法）			
						② グループ			
						A児（1年）	B児（2年）	C児（3年）	E児（4年）
1 2	○あたまとりをする。 ・知識や経験から言葉を集める。			○		・ことばあつめを楽しんでいる。 (行動観察, ワークシート)	・ことばあつめを理解し, 進んで言葉を集めている。 (行動観察, ワークシート)	・ことばあつめを楽しんでいる。 (行動観察, ワークシート)	・ことばあつめを楽しんでいる。 (行動観察, ワークシート)
3 4	・五十音表を活用して, 言葉を集める。			○	・簡単な語句を見て書き写し言葉を書いている。 (行動観察, ワークシート)				
5	○名前当てゲームをする。 ・知識や経験などをもとに, 物の名前を当てたり, 覚えたりする。 ○声の大きさ, 姿勢, 読む速さの3つの観点で振り返っている。		○		・見聞きしたことを簡単な言葉で話している。 (発言)	・身近なことや経験したことをもとに話している。 (発言)	・見聞きしたことを簡単な言葉で話している。 (発言)	・見聞きしたことを簡単な言葉で話している。 (発言)	
6 7 8	あいうえお歌をつくる。 【本時3 / 3】			○	・五十音表をもとに, あいうえお歌を2つ以上書いている。 (行動観察, ワークシート)	・あいうえお歌を2つ以上書いている。 (行動観察, ワークシート)	・言葉の表をもとに, あいうえお歌を1つ書いている。 (行動観察, ワークシート)	・言葉の表をもとに, あいうえお歌を1つ書いている。 (行動観察, ワークシート)	
9	○あいうえお歌の発表の練習をする。 ・発表のルールを理解し, ルールを守って発表場所で練習する。			○	・文字に関心をもって進んで歌を読む練習をしている。 (発表)	・声の大きさや姿勢に注意してはっきりした発音で読む練習をしている。 (発表)	・文字に関心をもって進んで歌を読む練習をしている。 (発表)		
10	○発表練習を振り返る。 ・発表の仕方について, 観点を知り, 振り返る。	○			・声の大きさ, 姿勢の観点で振り返っている。 (観察, 発言)				

11	○あいうえお歌の発表の練習をする。 ・観点で振り返ったことをもとに、よりよい発表になるよう練習する。			○	・声の大きさ、姿勢に気を付けて読む練習をしている。 (観察, 発表)
12	○発表会を開く。 ・相手に聞こえるように発表する。		○		・声の大きさ、姿勢に気を付けて発表している。(観察, 発表)

7 本時の展開

(1) 本時の目標

A児(1年)	五十音表をもとに、あいうえお歌を2つ以上書くことができる。
B児(2年)	あいうえお歌を2つ以上書くことができる。
C児(3年)	言葉の表をもとに、あいうえお歌を1つ書くことができる。
D児(3年)	友達と協力してイメージマップをつくり、つながりのあるしりとりことばを書くことができる。
E児(4年)	言葉の表をもとに、あいうえお歌を1つ書くことができる。
F児(5年)	友達と協力してイメージマップをつくり、つながりのあるしりとりことばを書くことができる。

(2) 準備物

- ・ワークシート
- ・絵カード
- ・お助けカード

(3) 本時の学習展開

学習活動	◇指導上の留意点 ☆支援		◎評価 (評価方法)	○主な発問や指示 ・予想される児童の反応			
	全体	D児 (3年)	F児 (5年)	A児 (1年)	B児 (2年)	C児 (3年)	E児 (4年)
1 前時までの学習について振り返る。	○これまでの学習を振り返りましょう。	①グループ		②グループ			
2 本時のめあてを確認する。	◇一人一人に自分のめあてを確認させる。	友達と力を合わせて、イメージマップからしりとりことばを書くことができる。		五十音表をもとに、あいいうえお歌を書くことができる。	自分で言葉を見つけて、あいいうえお歌を書くことができる。	みんなでつくった言葉の表をつかって、あいいうえお歌を書くことができる。	みんなでつくった言葉の表をつかって、あいいうえお歌を書くことができる。
3 イメージマップやしりとりことば、あいいうえお歌の作り方を知り、つくる。	◇支援員は、指導者がついていないグループを支援する。 ☆困ったことや質問などがある場合は、机の上にある「お助けカード」の表面が見えるように置くようにさせる。 ◇出来上がったしりとりことばやあいいうえお歌をホワイトボードに自分で掲示できるようにつける位置などを決めておく。	◇ワークシートを渡し、想像をさせておく。 ○今日は2人で協力してイメージマップをつくりましょう。 しりとりことばをつくらう！ ☆活動手順シートを用意しておく。 ☆学習意欲をもたせるために、分担場所に色づけをしたワークシートを用意しておく。 ☆最初のイメージでつまずいた時のために、具体物や絵を用意しておく。 ◇イメージマップができたら、自分がしりとりことばにしたい部分に、色で線を引かせる。 ◎友達と話し合っ活動ができています。(行動観察) ◇段階的にレベルが上がるイメージマップを用意す ◎自分の分担場所をワークシートにきちんと書いて、しりとりことばを書くことができる。(行動観察、ワークシート) ☆活動チェックシートを用意しておく。 ◇協同学習で気付いたことなどを児童同士で評価をさせるようにする。 ○今日の学習で、友達のどんなところがよかったですか。 ・友達と協力して考えると、いろいろな言葉をイメージでき、楽しくしりとりことばを完成させることができました。	◇ワークシートを渡し、想像をさせておく。 ☆活動手順シートを用意しておく。 ☆自分の分担場所が分かるように色づけをしたワークシートを用意しておく。 ☆最初のイメージでつまずいた時のために、具体物や絵を用意しておく。 ◇イメージマップができたら、自分がしりとりことばにしたい部分に、色で線を引かせる。 ◎作成したイメージマップを使って、しりとりことばを書くことができる。(行動観察、ワークシート) ☆活動チェックシートを用意しておく。 ◇協同学習で気付いたことなどを児童同士で評価をさせるようにする。	☆教材の位置を固定化しておく。 ☆五十音表から言葉を見つけるのが難しい場合は、掲示している言葉の表を使って書かせる。 ◇あいいうえお歌が書けた児童には、言葉に関する絵をワークシートに描かせる。 ☆ワークシートに絵カードを貼ってもよいように準備しておく。 ◎五十音表をもとに、あいいうえお歌を2つ以上書くことができる。(行動観察、ワークシート)	☆教材の位置を固定化しておく。 ☆児童のそばで、学習への取り組みについて肯定的な声かけをし、自信を持たせる。 ◇あいいうえお歌が書けた児童には、言葉に関する絵をワークシートに描かせる。 ◇絵や絵カードが難しい時には、あいいうえお歌をいくつもつくらせていくようにする。 ◎あいいうえお歌を2つ以上書くことができる。(行動観察、ワークシート)	○何行のあいいうえお歌を書くかを選んでつくります。 ☆教材の位置を固定化しておく。 ☆言葉の表の中から自ら選択、決定することであいいうえお歌が完成できるようにする。 ◇あいいうえお歌が書けた児童には、言葉に関する絵をワークシートに描かせる。 ☆ワークシートに絵カードを貼ってもよいように準備しておく。 ◎言葉の表をもとに、あいいうえお歌を1つ書くことができる。(行動観察、ワークシート)	☆教材の位置を固定化しておく。 ☆言葉の表の中から自ら選択、決定することであいいうえお歌が完成できるようにする。 ◇あいいうえお歌が書けた児童には、言葉に関する絵をワークシートに描かせる。 ☆ワークシートに絵カードを貼ってもよいように準備しておく。 ◎言葉の表をもとに、あいいうえお歌を1つ書くことができる。(行動観察、ワークシート)
4 本時のまとめをする。	◇完成したしりとりことばや、あいいうえお歌が貼ってあるホワイトボードを教室前面に置き、学習で取り組んだことを共有し、相互評価させる。	○今日の学習でがんばったことを教えてください。		○今日の学習でがんばったことを教えてください。			
		・友達と協力して考えると、いろいろな言葉をイメージでき、楽しくしりとりことばを完成させることができました。		・五十音表をつかって、(わに)という言葉を書くことで、あいいうえお歌をつくることができました。	・自分で(10)こ、ことばを見つけて、あいいうえお歌をつくることができました。	・ことばの表の、(ろうそく)という言葉を使って、あいいうえお歌をつくることができました。	・ことばの表の、(わなげ)という言葉を使って、あいいうえお歌をつくることができました。

